

○ 第四次葉山町総合計画前期基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について（速報）

NO	頁	項目	いただいた意見
(人・暮らし・街づくり編)			
基本理念 “人を育てる”葉山			
基本施策1 学校教育の充実			
1	10		目標として日本一の英会話力の付く教育を掲げてはどうか。教育は教師で決まる、スポーツ、音楽全て指導者で決まるのは教育も同じと思う。大学でも英語で授業を始めたと聞きますが、世界共通語が英語になった今、小学生低学年から始めるのが良策と考える。それには、先生の意識改革が必要で、具体策は外国人の活用、先生の英会話教育を計画的に進め、教育現場で役立てる。秋田県などの教育レベルの高い指導要領を学ぶ。ひいては近隣からの編入希望が増え、葉山への転入希望も増える。
2	10	まちづくり指標	「まちづくりの指標」の名称は、単に「指標」とした方がよいのではないかと。また「指標」は「学校教育の充実」が測れるものでなければならない。ここに示されている「指標」が適正かどうか疑問であり検討を要する。 「不登校児童生徒数」ではなく(全児童数により絶対値は変わるため)、「全児童に対する不登校児童生徒率」であるべきだし、「地域と連携活動数」が「学校教育の充実」に直接結びつくとは考えづらい。「学校教育の充実」とは、児童の学力、体力、精神力が測れる指標にしたらどうか。
3	11	単位施策	「単位施策1-01 教育内容の充実」及び「単位施策1-03 特別支援教育の充実」において具体的な取組みが示されていない。
4	11	単位施策 及び 協働でできること	「単位施策1-04 開かれた学校づくりの推進」若しくは「協働でできること」に「地域資源を学び触れあうことによって、子どもの郷土愛が育まれます」という表現を入れてはどうか。
基本施策2 生涯学習の振興			
5	13	単位施策	町民の学習希望に対し、相談窓口を図書館に設け、希望学習項目に対し、近隣市町村の学習項目を斡旋支援できるようにする。
6	13	単位施策 及び 協働でできること	「単位施策2-01 生涯学習活動の支援」、「単位施策2-02 生涯学習の場の確保」若しくは「協働でできること」に、「まちづくり協会等のプロデュースにより、地域に関する勉強会・講座など、生涯学習を推進します」という表現を入れてはどうか。
基本施策4 生涯スポーツ活動の推進			
7	17	単位施策	「単位施策4 02 競技スポーツの振興」中に「日本を代表し世界で活躍するような...葉山から生まれることをめざし」とありますが、予算の少ない中で、何かできるのか。この文言は削除すべきではないか。
8	17	単位施策	町民に関心のあるスポーツをアンケート等で、現状把握し、希望に対応して支援方法を検討実施する(希望の多いスポーツには機会を多く作る等)。
9	17	単位施策 及び 協働でできること	「単位施策4-01 取り組みやすい環境づくり」若しくは「協働でできること」に「お年寄りも気軽に参加できる気功、ダンスなど、間口を広げ参加機会を増やします」を入れてはどうか。
基本施策5 芸術文化活動の振興			
10	19	単位施策 及び 協働でできること	「単位施策5-02 文化財の保存と活用」または「協働でできること」に、「生垣・小径・建物・景観ポイントなど、町民とともに地域の「宝」を発掘し、そこに名前をつけるなど、葉山の魅力を再構築します」を入れてはどうか。
基本施策6 姉妹都市交流の推進			
11	20・21	基本施策	「基本施策6 姉妹都市交流の推進」は、実情に合わせて、中断するとして方がよいのではないかと。
基本施策8 子ども・子育て支援の充実			
12	25	単位施策	小学校6年生までの医療費無料化等のサービスや保育園等の充実、近隣自治体との連携により町外の保育施設の利用等をできるようにして、住みやすい町を目指せば人口が増加してくる。東京都などでは子育て支援の充実度で居所を選定することが当たり前になっている。
基本理念 “暮らしを守る”葉山			
基本施策9 健康づくりの支援・推進			
13	29	単位施策	高齢者への運動の支援について、「ピンピンコロリン(元気に長生きし、病まずに亡くなる)」が望むところである。それには運動が欠かせないと考える。できれば住宅の近くでトレーニングできれば良いと思う。運営は町内会、地域で行い、(町が委託し責任を明確にしておく)(ある程度充実していないと、活用されない)町内会活動の充実、コミュニティの活性化にもなると思う。

N0	頁	項目	いただいた意見
基本施策10 地域医療体制の充実			
14	31	基本方針	「町民アンケート調査集計結果」にある「総合病院や大きい病院がない、遠い」にどのような対策を図るのか。例えば、「町内に大病院がないという「弱み」を補うため、通院支援、高度・高額医療の負担軽減などの対策を図ります」というような表現を入れるのか。
基本施策11 地域福祉の充実			
15	32	施策分野(福祉)の将来像	「支えあいによって…」を「自立を助ける支えあい」にしてはどうか。
16	33	単位施策	具体策がないように思う。町から積極的に働きかけ、町内会、民生委員を活用し、具体的な活動を提案、支援を行う。活動しているグループから、支援できるように計らう。ボランティアで、組織的に簡単な大工仕事、簡単な電気仕事、簡単な庭仕事等のお助け会を運営しているところがあり、広めたら良いかと思う。
17	33	単位施策及び協働でできること	助けが必要な人であっても、地域福祉や各種団体の存在を知らない人がいる。または自力で救済を求める声を上げられない人に対する支援体制はどうするのか。「単位施策11-01 身近な地域での支えあい活動の拡大」、「単位施策11-03 地域福祉の推進体制の強化」若しくは「協働でできること」にいずれかにおいて言及がほしい。例えば、「自力で救済を求める声があげられない人に対しても、目が届くよう、見守りネットワークの体制を構築します」というような表現を入れてはどうか。
18	33	単位施策及び協働でできること	「単位施策9-01 自発的な健康づくりの推進」に「お年寄りも気軽に参加できる気功、ダンスなど、間口を広げ参加機会を増やします」を入れてはどうか。
基本施策12 高齢者福祉の充実			
19	35	単位施策	具体策がないように思う。町から積極的に働きかけ、町内会、民生委員を活用し、具体的な活動を提案、支援を行う。活動しているグループから、支援できるように計らう。ボランティアで、組織的に簡単な大工仕事、簡単な電気仕事、簡単な庭仕事等のお助け会を運営しているところがあり、広めたら良いかと思う。
基本施策13 障害児・者福祉の充実			
20	37	単位施策	障害者自立支援法に基づく児童発達支援と放課後等デイサービスにどのように取り組むかを明示すべき。
21	37	単位施策	「単位施策13-01 地域での自立生活支援の充実」及び「単位施策13-02 就労の促進」において、どのような取り組みを行っていくのかを具体的に示すべき。
基本施策14 緑の保全			
22	38・39		現在の自然を保つには、人口増加を抑制するべきである。人口増に伴う自然環境への多大な負荷をかけないために、開発行為を全面禁止するとともに既存の開発地域は可能な限り元の状態に戻し、不便な町を目指すべきである。
23	39	単位施策	「単位施策14-01 緑の保全活動の促進・支援」において、現状、緑の保全に要するひと・もの・かねが足りない。ボランティア団体の活動に頼っているだけでは限界がある。「ふるさと葉山みどり基金や緑地保全奨励金を有効に活用し、緑の保全活用を推進します」など財源の明示が必要と考える。
基本施策15 循環型社会の形成			
24	40・41	まちづくり指標及び単位施策	「まちづくり指標」において、ごみ処理経費の削減に関する記述がない。めざそう値を記すべき。また、「単位施策15-01 ごみの資源化・減量化の推進」の本文中に「地方公共団体は事務処理を最少の経費で最大の効果を挙げなければならないという原則に立って資源化・減量化を推進します」と入れてはどうか。
25	41	単位施策	「単位施策15-01 ごみの資源化・減量化の推進」にも記述があるが、ゴミの資源化減量化に関して行政は戸別収集実施に際し、丁寧に説明会を(2～3回どころでなく、5～6回)開き、地元民も会場に入りきらない程であった。こうした手法で新規の取り組みのスタートを切ったことに注目している。
基本施策16 地球温暖化対策の推進			
26	43	単位施策	「単位施策16-01 資源エネルギー対策の促進」について、現在葉山町で補助制度が適用できるのは太陽光発電設備だけである。「再生可能エネルギー」は、太陽光発電設備だけではない。その調査・研究・開発・試用に対しては、町からの支援が行われていない。協働の理念から、民間のオファーに対しては前向きに取り入れてほしい。町の制度に受け皿が必要である。
基本施策17 公共下水道事業の推進			
27	44	まちづくり指標	「めざそう値」に放流先の水質があるのみで、川の中下流の数値は指標に入っていない。これだけでは川の水質と公共下水道普及の因果関係が測れない。「良好な水環境」という目的がぼけてしまっている。
28	45	単位施策	「単位施策17-01 公共下水道の整備推進と普及・促進」において、下水道への接続を完全無償化することによる接続率の向上かつ収入の増加を図ってはどうか(現状接続100%で収支が成り立つかは不明だが)。大胆な投資をすることで、後の収益を確保する施策も必要ではないだろうか。

NO	頁	項目	いただいた意見
基本施策18 合併浄化槽の整備			
29	46	まちづくり指標	浄化槽の「法定検査受検率」の「めざそう値」が50%ととなっているが、100%を目指すべきではないか。
30	47	単位施策	合併処理浄化槽の普及がうまくいっていない。この普及に努力するとともに、「別な道」を選ぶ必要がある。「水環境」の改善を図る目的であれば、「川の地点毎の水質から、汚れている因果関係を特定し、その対策を探る」ものでなければならない。要は汚れている原因を除去すればいい訳だから、その解決方法は下水道や浄化槽の普及だけではない。そこで、つぎのような文言を「協働でできること」に入れることを提案する。(ごみや生活排水などの)「川の汚染を避ける生活者への啓発をすすめます。」、「協働でできること」「町民協働による「ビーチクリーン」、「リバークリーン」を推進します。」または、「町民と共に川・海の浄化に努めます」を入れたい。
基本施策19 消防・救急体制の確立			
31	48	現状と課題	他自治体では軽自動車の消防車両も存在している。葉山の道幅にあった車両の導入をもっと積極的に進めてはどうか。
基本施策20 災害に強いまちづくりの推進			
32	50・51		三浦半島の原子力事故対策の記述がない。3.11のように想定外にするのか。横須賀との直線距離は4km程度で三方を山に囲まれ、残る一方は海。しかも半島地形。数万人が一斉に三浦半島北部へ避難したらどうなるのか。
33	50	現状と課題	「夜間災害に備えて誘導灯設置など、安全な避難路確保を図ります」を加えてはどうか。
34	51	協働でできること	「協働でできること」に「葉山町災害時要援護者登録者に対する近隣支援者に登録し協力します」を加えてはどうか。またこの制度の周知に努めるべき。さらに「私有地や私有施設が、避難路や避難場所として役立つ場合には、積極的に協力します」を加えてはどうか。
基本施策21 防犯・交通安全対策の推進			
35	53	単位施策	「単位施策21-02 交通安全対策の推進」において、葉山の地域特性からも「速度・一方通行の規制」の道路を増やす取組みなどにより、歩行者が安心して歩ける町宣言(通学の子供たち、子育て中のお母さん、ゆっくり歩きたいお年寄り、葉山を楽しみに訪れた人々や環境にやさしい)をする英断を望みたい。
基本理念 “街が躍動する”葉山			
基本施策23 地域特性を生かしたまちづくりの推進			
36	59	単位施策	「単位施策23-01 地域特性に沿った土地利用の誘導」に「地域のことは地域で計画する「地域まちづくり推進協議会」の認定、「地域まちづくり協定」乃至「地区計画」決定の支援を行います」というような表現を加えてはどうか。
基本施策25 水辺環境の整備促進			
37	63	協働でできること	「協働でできること」に「河川の清掃については、「リバークリーン活動」として町の行事にすることを推進します」と入れてはどうか。
基本施策26 計画的な幹線道路の整備			
38	65	単位施策	「単位施策26-02 都市計画道路の見直し」に「平成26年3月に策定した「都市計画道路の見直し方針」は、策定後も柔軟な見直しを行います」という表現を加えてはどうか。
基本施策27 安全で快適な町道の確保			
39	67	単位施策	「単位施策27-01 町道の整備・維持管理」及び「単位施策27-02 道路交通の安全確保」に「自転車の安全な通行が確保できるよう、施策を検討します」を付け加えてはどうか。
基本施策28 適切な橋りょうの維持管理			
40	69	単位施策	「単位施策28-01 橋りょうの予防保全型管理の推進」について、費用の平準化を図りながら、寿命を延ばすのは難しい。必ずしも年度毎の平準化とはならずともトータルで費用の削減が達成できれば善しとするほうが合理的であると考え。
基本施策29 公共交通の環境整備			
41	71	単位施策	交通不便地帯と交通弱者(高齢者や児童・生徒)の移動を支援するための路線バス以外の地域公共交通を計画に明示すべき。また、地域公共交通会議を実施して地域特性に対応した公共交通計画の策定を実施すべき。
42	71	単位施策	交通不便地に対する言及がない。
43	71	単位施策	人口減に伴い町に人を呼び込む対策が必要になると考える。既に過疎地域では行っているが空家の活用。第一にアクセスが重要と考える。 ・自然渋滞の改善方法の検討 ・時間帯による信号機の設定検証 ・バス停にバス運行情報機器の設置 ・逗子市との渋滞解消策の検討
44	71	単位施策	葉山の地域特性は、海から谷戸が入り組んでいて山坂の多い地形で、しかも人口3万の人々の小さな塊が点在している。バス路線は大まかに山側・海側の2路線であり、「単位施策29-01 バス路線の充実」と「単位施策29-02 バスの利用環境の向上」を挙げている。今後、葉山の持つ豊かな自然のことも考えながら、取り組みを行っていくべきである。その際は綿密な聞き取り調査・説明会を実施するべきである。生活の足の保障がなされれば、葉山の魅力は倍増すると考える。

NO	頁	項目	いただいた意見
基本施策30 農業・水産業・商業の振興と連携の促進			
45	73	単位施策	「単位施策30-01 地域に根ざした農業の振興」については、10～15年計画で完全オーガニック農業に転換するとともに、葉山牛の増産、鶏卵、野菜、果物等の葉山ブランド化を図り、全国に発信してはどうか。また、それらの農園や牧場をハイキングコースに組み入れ、体験、見学、即売等を活発化してはどうか。
46	73	単位施策	「単位施策30-02 つくり育てる漁業の振興」に、「資源の減少をくい止めるため、(近隣漁業組合と連携をとり)シラスの禁漁期間を延長します」という表現を加えてはどうか。
47	73	協働でできること	「協働でできること」に「稚魚の放流、あまもの種苗など、町全体の課題ととらえ、町及びボランティア団体と協働で町民のイベントとして盛り上げます」という表現を加えてはどうか。
基本施策31 観光の振興			
48	74・75		葉山町のもつ日本一の観光資源を活用することにより地場の農業及び水産業を振興することを提案したい。 (1)「観光文化都市」宣言をする。 葉山町は、観光を基本として発展するという内外に示すことにより、町民の理解を深めるとともに、観光客に町をあげて歓迎する意を伝える。 (2)「葉山海道」の整備 富士山を中心とする大パノラマを景観する県道207号線を「日本風景街道(シーニック・バイウェイ)」に選定(国土交通省)し「葉山海道」と名付け整備する。できるだけ渚に沿って安心して歩ける簡易な遊歩道を整備する。 (3)「葉山海道」沿線の観光資源との提携を強化 案内板等を整備するとともに、「道の駅」を1～2か所設置する。展望食堂、物産品販売所等の他、釣り堀、水中観光船漁業体験船等の船着場を併設するなどして、住民と観光客の交流を活発化する。
(行政運営編)			
基本理念 “みんなで支える”葉山			
基本施策32 地域コミュニティの活性化			
49	80	現状と課題	町内会と行政の「共助」は良い。しかし、現状で行政が指導力や強制力を発揮すべき部分を町内会に丸投げし、責任を転嫁しているように感じることもあるので課題として認識してほしい。
50	81	単位施策	「単位施策32 01 地域コミュニティ活動への支援」中に、「新たに町民になる方へ町内会へ入会するように促していく」というような表現を追加してほしい。
51	81	単位施策 及び 協働でできること	「単位施策32-01 地域コミュニティ活動への支援」及び「協働でできること」に、「地域で「共助」を育むことが、住民相互のふれあいを促進します」という表現を加えてはどうか。
基本施策34 広報・広聴活動の充実			
52	85	協働でできること	「協働でできること」に「ワーキンググループは、行政主導で行うだけでなく、「フォーラム」や「ワークショップ」というカタチで町民やまちづくり団体が主体になって開催します」と加えてはどうか。
基本施策35 人材育成・人材管理の充実			
53	86・87		職員全体での意識改革、特に上位者ほど意識改革が必要となる。社長が変われば会社が変わると同じである。誰がお客さまか、お客さまに対応する行動ができるかがポイントと考える。
54	87	単位施策	「単位施策35-01 人材育成の充実」に、「「職員提案」を積極的に取り入れ、職員のモチベーションを高めます」と及び「各部署は政策の執行機関としてだけでなく、政策立案機関としても機能するよう能力向上を図ります」と加えてはどうか。
基本施策36 行政組織の充実			
55	88・89		今後、人口減、収入減を考慮し、小さい組織にしていく必要があり、今から考慮し計画的に進めることが良策と考える。
56	89	単位施策	縦割行政にとらわれない動きができる課等があるとよいのではないかと。
基本施策38 健全な財政運営の維持			
57	92・93		全く計画案になっていない。今後10年間の財政政策方針が不明確。史上最低の金利水準で出口戦略が10年間取られないことを前提とするのか。これは大変危険だと思う。ここが無い計画案は、計画案の半分が書かれていないのと同じ。
58	92	現状と課題	「現状と課題」に、「将来の老朽化する公共インフラ、人口減による税収減、扶助費増を見据え、計画的な(基金・町債の運用を含む)財源確保策を図り、持続可能な行財政運営を進めます。」を加えてはどうか。
59	93	単位施策	「単位施策38-01 歳入の確保」について、少子高齢化に伴い住民税は減少していくことが予想されるため、さまざまな歳入の確保策を講じていく必要がある。 (例)遊休資産の活用、ペット税の導入、町民からのアイデア募集等
基本施策39 公共施設の有効かつ適切な管理			
60	95	単位施策	「単位施策39-02 公共施設の再配置の検討」の本文末尾に、「また、水源地橋と水源地および林道を活用し、新しい親水、遊歩道、湧水干ばつ時利用など、新しい観光・交流、減災の場として、活用できるか検討します。」を入れてはどうか。

NO	頁	項目	いただいた意見
全体事項			
61	全体	全体	全般として良くできている。
62	全体	全体	「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」を明確に定義づけることが基本である。原案では、従来の計画の踏襲したものであり、数年で計画と実態や現実の予算編成が離れていくことは明白である。「基本構想」は、町の将来像と町づくりの理念、「基本計画」は、理念に基づく町づくり基本計画と基本目標、「実施計画」は、基本計画を事業施策に落とし込んだものであることを明確に定義し、毎年度期初の予算編成・計画は実施計画を基に行うこと念頭において考えていただきたい。以上の観点から考えた場合、「基本計画」は、「基本構想」の「人を育てる」葉山、「暮らしを守る」葉山、「街が躍動する」葉山の3つの理念別に示された「施策の大綱」の(取り組みの方向)別に4年の中期計画を示すことが望まれる。
63	全体	全体	基本施策ごとの各ページにおいて、「基本目標」の下にある「施策分野」は削除するとともに、「基本施策」を「基本計画」としてはどうか。
64	全体	全体	歳出改革として、医療費にメスを入れていただきたい。子ども医療費の無償といった政策は、政治的にも受けが良いかもしれないが、もう少し、一部医療費の負担といった政策を住民にお願いすることも重要である。例えば、初診時の少額負担(100円程度)を提案したい。
65	全体	全体	そもそも、「基本構想」の議論が終わらないのになぜ「基本計画案」があるのか理解できない。構想に合わせて計画を作るのではないのか。もし時間がないからというのであればそれは議会、町民軽視に思える。「基本構想」自体がこの「基本計画案」の延長にできていることが分かる内容だ。「基本計画案」が先で「基本構想」はそのまとめとして作成したのだろう。「基本計画案」は全体的に日常の行政各部署の仕事とその延長に見える。そのため創造性には乏しく、縦割りであり、全体的に何かを作り出すというより対処型だ。これまではこうした体制・対応で何とか思ったと思うが、これからこの方法で葉山町の未来は開けるのか。
66	全体	全体	計画は各部署の事業計画方針の羅列で予算、その獲得方法などの記載が全くなく、行政縦割り配分の計画案になっている。この計画案の10年後の予算規模は概算で幾らになるのか。
67	全体	全体	計画案の優先順位が不明である。そのため10年間の戦略性や優先目標も不明である。
68	全体	全体	葉山町は10年後何で食べていくのか不明。町の増収、町民経済の活力増はどうするのか。
69	全体	基本目標とまちづくり指標	「目標」と「指標」の連動性がない。「目標」が目標になっていないためか、「指標」を達成しても、目標(基本目標)の達成とはどうつながるのかわからない。全体の構成、体系が「計画」の概念から遊離しており、「基本理念」「基本目標」「基本施策」「まちづくり指標」「課題」「基本方針」「単位施策」の各定義及びそれらの関係の認識に混乱がみられる。本計画における「目標」は「理念」や「課題」レベルの表現となっている。「目標」の表現には、「目標項目(何を)」「期限(いつまでに)」「達成水準(どれだけに)」の3要素が不可欠である。(例)「基本目標1」の「子供の豊かな自己実現力(生きる力)が育まれているまち」という表現は期限も達成水準も不明。まず、「自己実現力」をどういう目標項目で計測するのかを真剣に考えなければならない。例)「一人で ができるようになった生徒の人数」等
70	全体	まちづくり指標	「めざそう値」の算出根拠が分からない。
71	全体	まちづくり指標	数値目標が全体的に低いように感じる。10年かけて達成する数値としてふさわしいのか疑問。こうした数値設定の妥当性について一定の合理性を確認すべきと思う。また、項目設定が正しいのか疑問に思える計画目標項目が散見される。その目標達成が目的に合っているのか合理的説明が必要。かなりおかしな目標項目が掲載されている。成果を求められ慣れていないため、何を目標項目にしてよいか迷っているようだ。
72	全体	基本方針	「基本方針」は省く(基本構想に基づいた基本計画(施策)であること、理念に基づき基本目標を先に定め、基本計画(施策)を述べているため)。「具体的な取り組み(単位施策)」は、「基本計画」の計画期間(4年)の間に取り組むべき方向性を示し、個別具体施策は、「実施計画」に落とし込むことが望ましいと考える。
73	全体	単位施策	「具体的な取り組み」という表題があるにもかかわらず、単位施策の中身が抽象的で、具体性がないものが多い。ここにこそアイデアが必要と考える。(例)「基本施策12 高齢者福祉の充実」の各単位施策の表現 「適切な支援を行う」 「葉山ならではの地域包括ケアを推進する」 「関係団体と連携しながら」 「ニーズに応じた介護保険サービスの供給量の確保」 結局は、何もしないか、小手先細工で、お茶を濁すことになる。
74	全体	協働でできること	「協働」という言葉が多く使われているが、町が協働に取り組む姿勢になっていないので、組織として「協働推進課」(仮称)を設置すべきではないか。
75	全体	協働でできること	各所に記載されている協働の促進は支持できるが、反対に行政の位置付け、役割も過去と違って来るはずだ。そこが不明確である。町民は行政の下働きにならない明確な方針も必要だ。また、計画案からは事業(部署)によって協働に対する理解がかなり違っているようだ。
76	全体	個別計画	「基本計画」の中で、他政令に基づいた個別計画(例えば、高齢者福祉計画等(町HPの個別計画参照))や、町の個別計画に示されていない下水道事業五ヶ年計画等との関連を定義づけるべきである。
77	全体	個別計画	総合計画の「基本計画」と、政令に基づいた計画(町HPの個別計画参照)では、施策実施段階においては政令に基づいた計画が優先される。よって、町の計画で上位に位置する「基本計画」は政令に基づいた計画をカバーする必要があることを十分に理解したうえで、構成を考える必要がある。
78	全体	個別計画	第四次葉山町総合計画と連動性を持たせるため、各種個別計画についても見直し作業をするべきである。